

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学-発達	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学 期	後期	教室名	901教室
担 当 教 員	和田 望				
実務経験と その関連資格	大阪発達総合療育センター・小児リハビリテーション病院にて11年勤務し、脳性麻痺(乳児～成人)の療育・リハビリテーションを中心に、重症心身障害児者、骨形成不全症、ダウン症やプラダウィリー症候群などの染色体異常、レット症候群、発達障害の小児理学療法を実施。				
《授業科目における学習内容》 人間発達学で学んだ、主に胎児期から6歳くらいまでの正常発達や反射・反応の復習をするとともに、さらに詳しく理解を深め、小児領域の疾患やその障がいの特徴を理解し、治療評価や治療への展開について理解する。また、正常児・障がい児の姿勢や動作を理解するために、自身の姿勢や動作の確認も行う。加えて、障がい児の治療時のセラピストの治療姿勢も実技の中で経験する。					
《成績評価の方法と基準》 定期試験(80%)、出席回数と授業態度(20%)にて評価する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書に「イラストでわかる小児理学療法」上杉雅之監修 医歯薬出版 を使用する。参考図書「イラストでわかる小児理学療法学演習」					
《授業外における学習方法》 指定した教科書を事前に読んでおくこと。					
《履修に当たっての留意点》 人間発達学で学んだことを思い出し、さらに小児理学療法の分野に特化して学んでいきます。苦手意識を持たず、身近にいる子どもや障がいをもって生活している方々に意識を向け、興味を持って授業に臨んでください。実技も積極的に参加してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	胎児期から1歳ぐらいまでの姿勢・運動発達を理解し、再現できる。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。	
	各コマにおける授業予定	人間発達(運動発達)			
第2回	授業を通じての到達目標	出生から1歳ぐらいまでの上肢・摂食の発達と原始反射・姿勢反応について理解する。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。	
	各コマにおける授業予定	人間発達(上肢・摂食・原始反射と姿勢反応の発達など)			
第3回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺の定義を学び、分類や二次障害について理解する。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。	
	各コマにおける授業予定	脳性麻痺の概略			
第4回	授業を通じての到達目標	痙直型脳性麻痺-両麻痺の特徴を理解し、評価・介入の方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。	
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺-両麻痺			
第5回	授業を通じての到達目標	痙直型脳性麻痺-四肢麻痺の特徴を理解し、評価・介入の方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。	
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺-四肢麻痺			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	痙直型脳性麻痺-片麻痺の特徴を理解し、評価・介入の方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺-片麻痺		
第7回	授業を通じての到達目標	アテトーゼ型脳性麻痺の特徴を理解し、評価・介入の方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	アテトーゼ型脳性麻痺		
第8回	授業を通じての到達目標	重症心身障害児・者の特徴を理解し、理学療法士としてどのような関わり方をしていくかを学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	重症心身障害(重度脳性麻痺)		
第9回	授業を通じての到達目標	小児理学療法の対象となる主な小児整形疾患を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	小児整形疾患		
第10回	授業を通じての到達目標	デュシャンヌ型筋ジストロフィーの特徴と病態を学び、どのようなサポートを必要とするか理解する。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	デュシャンヌ型筋ジストロフィー		
第11回	授業を通じての到達目標	ダウン症候群の特徴を理解し、アプローチの方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	ダウン症候群		
第12回	授業を通じての到達目標	低出生体重児・ハイリスク児のとはどのような状態であるか、その予後予測やアプローチの方法を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	低出生体重児・ハイリスク児		
第13回	授業を通じての到達目標	発達障害とは何かということの知識と理解を深める。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	発達障害		
第14回	授業を通じての到達目標	小児理学療法の特殊性について理解し、実践に向けて必要な姿勢を学ぶ。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	小児理学療法の特殊性		
第15回	授業を通じての到達目標	講義を通じて理解が難しかったところや特に重要な内容を再確認し、理解を深める。	PC・プロジェクター・実技のできるマットまたはベッド	教科書の該当ページをよく読む。
	各コマにおける授業予定	まとめ		